

2018年5月8日

## AED×ドローンの実証実験を実施

日本 AED 財団（理事長：三田村 秀雄）は、静岡県交通基盤部の協力を得て、小笠山総合運動公園（袋井市）に於いてドローンによる AED 搬送の実証実験を行ないました。

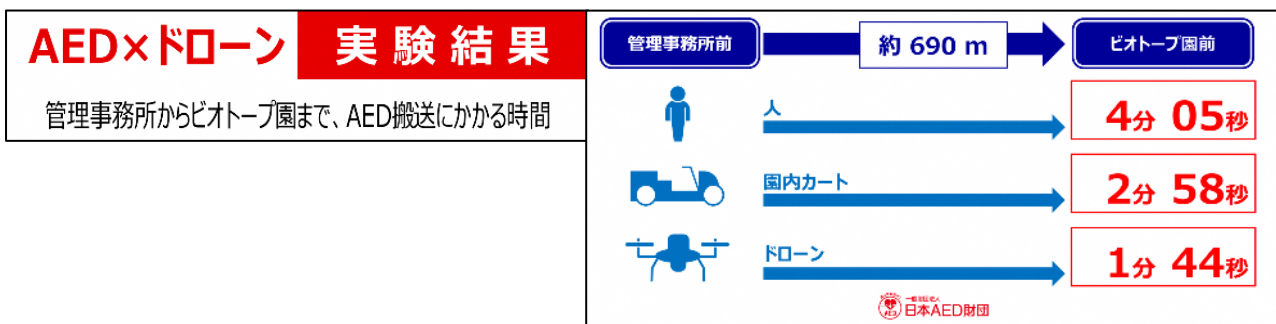
実証実験では、電動カート、人による AED 搬送とドローンによる搬送の時間計測等を行ない、ドローンを活用することにより、より迅速に救命現場へ届けることができることを確認いたしました。

今後は、実験を通じて顕在化した課題を克服して、「5分以内の電気ショックの実現」による救命率向上に向け、ドローンによる AED 搬送の早期実用化に尽力していく所存です。

### 【AED の電気ショックまでの時間と救命効果】

突然起こる心停止から命を救うことのできる唯一の手段が AED による電気ショックです。しかし AED による救命効果は電気ショックが 1 分遅れる毎に 1 割ずつ減っていくことが知られています。少しでも多くの命を救うには数分以内の電気ショックが欠かせません。そこで解決しなければならないのは、いかに迅速に AED を現場に届けるか、という問題です。

- **実施日時** 平成30年3月12日（月）～13日（火）
- **実施場所** 小笠山総合運動公園（静岡県袋井市愛野 2300-1 TEL: 0538-41-1800）  
<https://www.ecopa.jp/access/>
- **実施主体** 一般財団法人 日本 AED 財団
- **実施協力** 静岡県交通基盤部、静岡県小笠山総合運動公園 エコパハウス  
オムロン ヘルスケア株式会社、キャンノンマーケティングジャパン株式会社
- **実験内容** 公園管理事務所に近接するエコパスタジアム正面チケット売り場付近から約 690メートル先のピオトープ園入口付近で人が倒れたと想定し、チケット売り場から人（成人男性による小走り程度の速さ）、電動カート、ドローンの3つの手段による AED の搬送時間を計測しました。
- **実験結果** 3月13日10時からの公開実験においては、AED 搬送用の大型ドローンが機体不良のため小型ドローンでの飛行デモを実施しました。前日12日に行なった計測結果は以下の通りで、本データに基づいて、「5分以内の電気ショック実施」に対して、人やカートなどでの道なりでの運搬よりも、上空を通過する経路をとることができるドローンによる AED の搬送は、救命距離を延ばすことができる画期的な運搬方法としてその有用性が確認できたと判断致します。



### 本内容に関するお問い合わせ

一般財団法人 日本 AED 財団 事務局  
 〒101-0047 東京都千代田区内神田 2 丁目 7-13 山手ビル 3 号館 1 階  
 TEL : 03-3253-2111 FAX : 03-3253-2119 <http://www.aed-zaidan.jp/>